

新型コロナ対策の経過報告

令和4年5月12日(木)

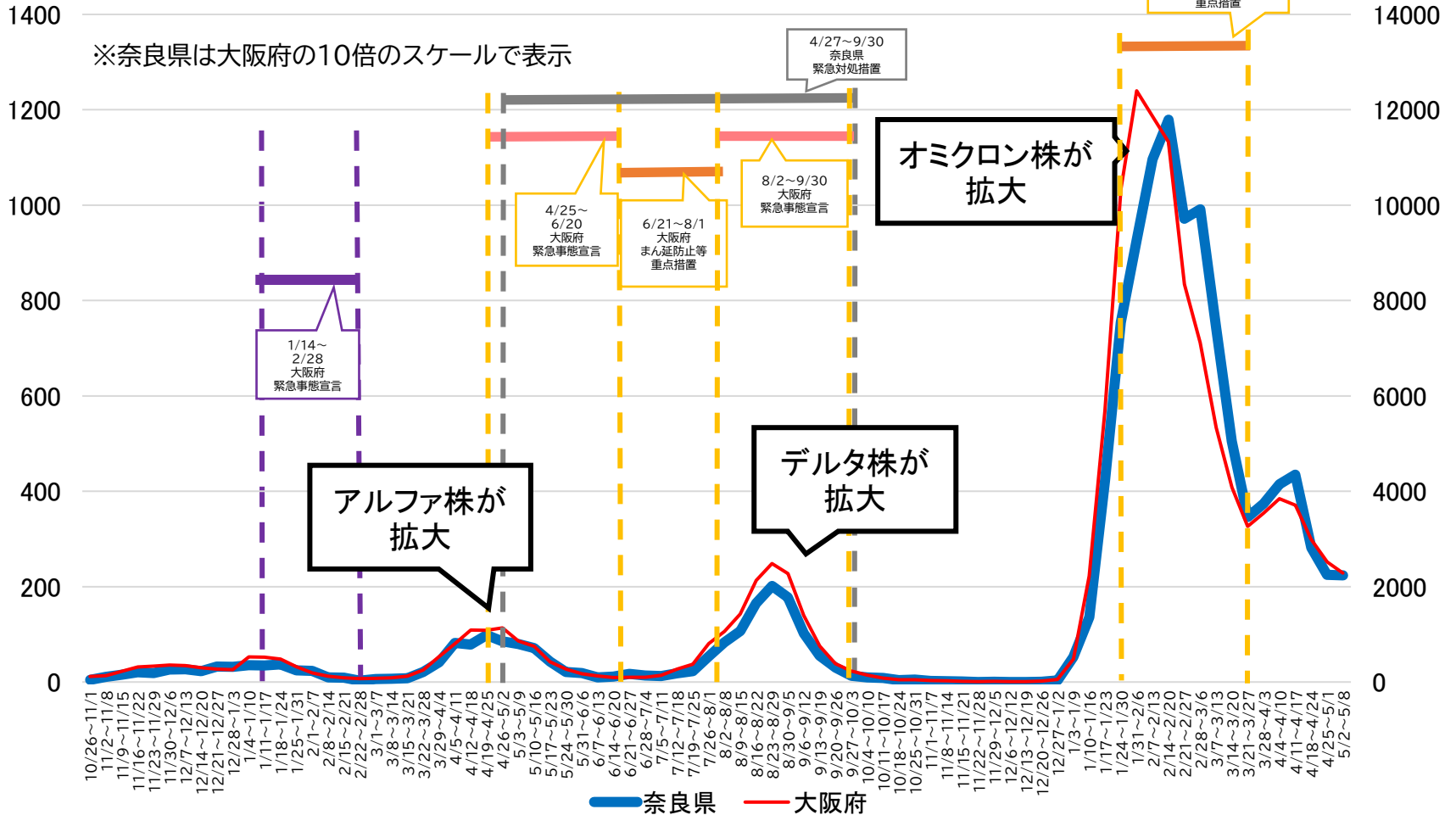
知事定例記者会見資料

奈良県の新規感染者数は、引き続き大阪府と連動している状況にあります。

大阪府と奈良県の新規感染者数の推移(発表週別の1日平均)
令和2年10月26日～令和4年5月8日

奈良県

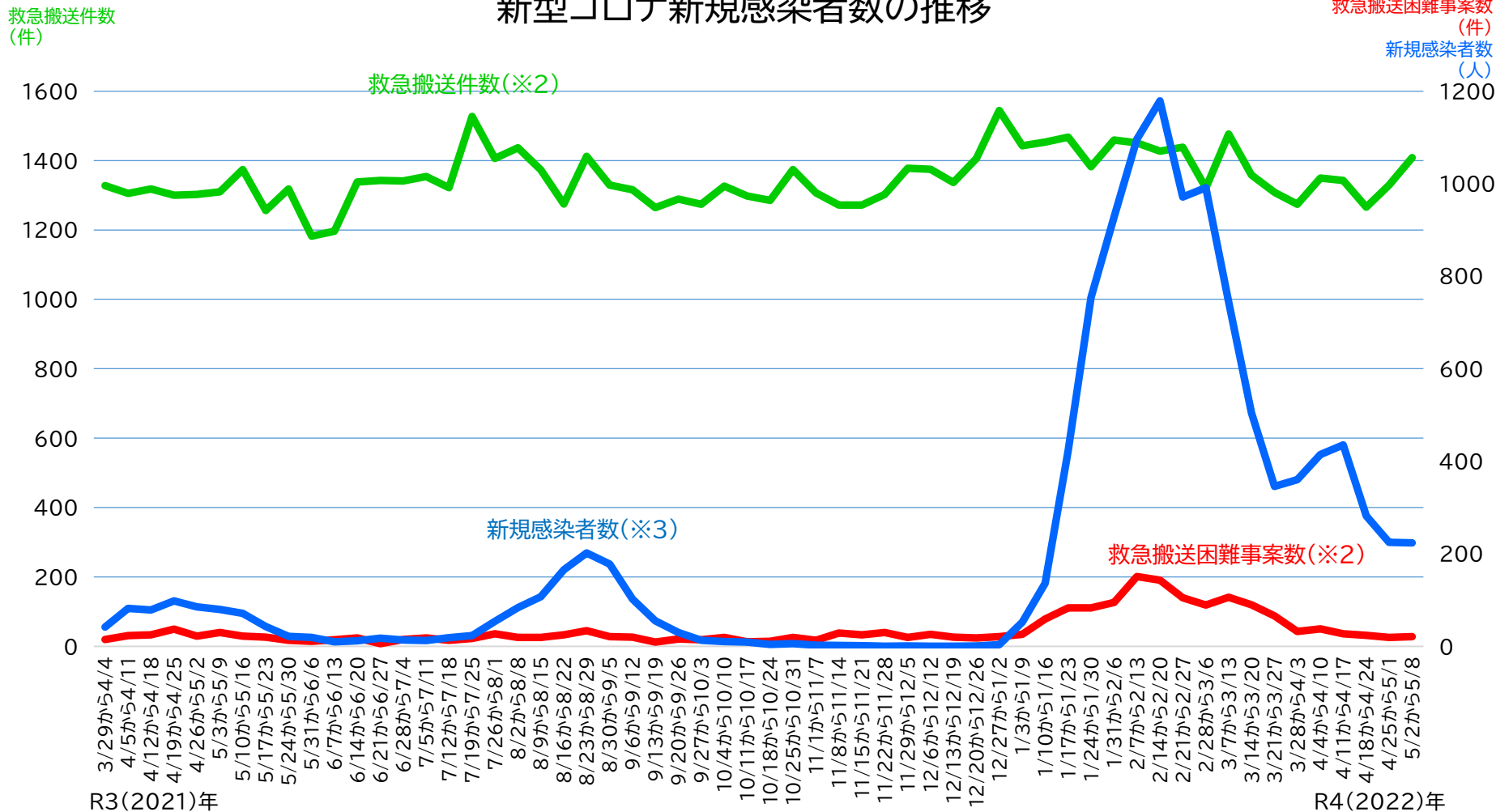
大阪府



※大阪府の感染者数は大阪府公表資料をもとに奈良県で算出

救急搬送困難事案数は減少しています。

奈良県における救急搬送件数と救急搬送困難事案数、 新型コロナウイルス新規感染者数の推移



※1 救急搬送困難事案とは、救急隊による「医療機関への受入れ照会回数4回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案
 ※2 救急搬送件数、救急搬送困難事案数ともに速報値であり、発熱等がなく新型コロナウイルスの感染が疑われない患者の搬送を含む
 ※3 新型コロナウイルス新規感染者数は、発表週別の一日平均

新たに定めた「療養先トリアージ基準(4月20日奈良県新型コロナウイルス感染症対策本部会議決定)」を支障なく運用し、新型コロナの治療や基礎疾患の治療等のために入院が必要な方をしっかりとトリアージしています。

参考(R4.4.20県新型コロナ対策本部会議資料抜粋)

令和3年12月27日～令和4年3月31日に
「入院が必要」とトリアージした理由別内訳

計 2,213人

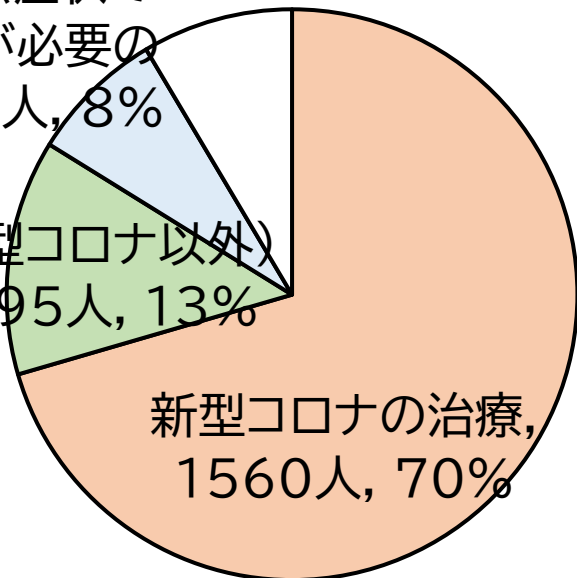
その他,

新型コロナ無症状で 189人, 9%

即時の治療が必要の
ない方, 169人, 8%

基礎疾患(新型コロナ以外)
の治療等, 295人, 13%

新型コロナの治療,
1560人, 70%



「療養先トリアージ基準」運用後

令和4年4月21日～5月5日に
「入院が必要」とトリアージした理由別内訳

計 54人

その他,

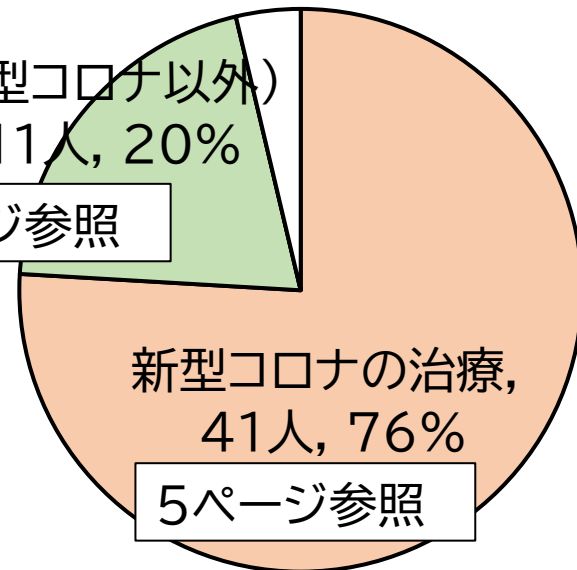
2人, 4%

基礎疾患(新型コロナ以外)
の治療等, 11人, 20%

6ページ参照

新型コロナの治療,
41人, 76%

5ページ参照



「その他」の2人・・・陽性の子(入院)の付き添いをしていた
親が、付き添い中に病院で陽性となった

令和4年4月21日～5月5日に
「入院が必要」とトリアージした理由別内訳

計 54人

その他,
2人, 4%

基礎疾患(新型コロナ以外)
の治療等, 11人, 20%

新型コロナの治療,
41人, 76%

新型コロナの治療 41人の状況

意識障害,
1人, 2%

その他の症状(強い倦怠感など),
1人, 2%

レントゲン等による肺炎像
や強い咳等の呼吸器症状,
2人, 5%

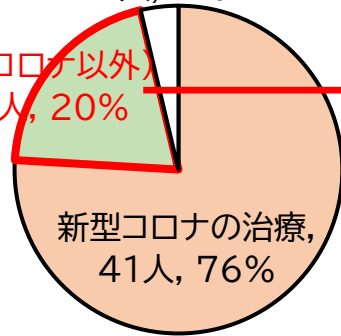
嘔吐や下痢などで食事を
とることが困難,
4人, 10%

血中の酸素飽和度の低下,
33人, 81%

令和4年4月21日～5月5日に
「入院が必要」とトリアージした理由別内訳

計 54人

その他,
2人, 4%



基礎疾患(新型コロナ以外)
の治療等, 11人, 20%

基礎疾患(新型コロナ以外)の治療等 11人の状況

その他の基礎疾患等
(悪性腫瘍など),
3人, 27%

透析,
1人, 9%

骨折・外傷・痙攣など
新型コロナと同時期に
発生した傷病の治療,
3人, 27%

妊婦,
4人, 37%

妊婦の方や透析を必要とされる方々への入院医療体制を充実しています。

関係医療機関の協力を得て、引き続き、体制の強化に努めます。

新型コロナ患者の入院を受け入れる29病院のうち、
妊婦・透析・認知症に対応可能な病院数

	2月18日時点	5月11日時点
妊婦	2病院	6病院 今後も拡充に努めます
透析	4病院	10病院 今後も拡充に努めます
認知症	29病院	29病院

新型コロナウイルス感染対策責任者の登録が進んでいます。
責任者には、県立医科大学附属病院 笠原感染症センター長に作成・監修していただいた「感染対策マニュアル」の実践責任者となって各施設で感染予防対策を励行していただくため、県が説明会を開催するなど、責任者の具体的な役割について改めて周知します。

新型コロナウイルス感染対策責任者の登録状況

令和4年5月11日時点

対 象	対象施設数(A)	登録数(B)	(B/A)
医療機関	75病院	75病院	100%
高齢者施設 [入所(短期含む)]	654施設	528施設	81%
障害者(児)施設 [入所]	39施設	39施設	100%

ワクチンの接種状況について（全体）

- ワクチン接種による感染予防効果や重症化予防効果は、時間の経過に伴い、徐々に低下していくことが示唆されており、一定程度効果を回復させるため、ワクチンの3回目接種を進めていくことが重要です。
- 県では、引き続き、広域接種会場の設置等の接種機会を確保するとともに副反応に関する正しい情報や3回目接種のメリット等に関する情報を充実させ、積極的な発信に努めるなど接種の加速化を図ってまいります。
- 「4月20日奈良県新型コロナウイルス感染症対策本部会議」以降の接種状況は以下のとおりです。

3回目接種	5/12定例会見時（5/8時点） 接種者数（接種率）	4/20本部会議時（4/17時点） 接種者数（接種率）	増加数（増加率）
全体	746,067人（55.48%）	669,112人（49.76%）	+76,955人（+5.72%）
65歳以上	375,612人（89.40%）	369,003人（87.82%）	+6,609人（+1.58%）
12-64歳	369,095人（46.00%）	299,103人（37.28%）	+69,992人（+8.72%）
小児接種※	5/12定例会見時（5/8時点） 接種者数（接種率）	4/20本部会議時（4/17時点） 接種者数（接種率）	増加数（増加率）
1回目	7,205人（9.34%）	5,825人（7.55%）	+1,380人（+1.79%）
2回目	5,685人（7.37%）	3,092人（4.01%）	+2,593人（+3.36%）

※接種済者数等は、ワクチン接種記録システム（VRS）の実績を基に県で整理。（内訳分については年齢不明者を除く）

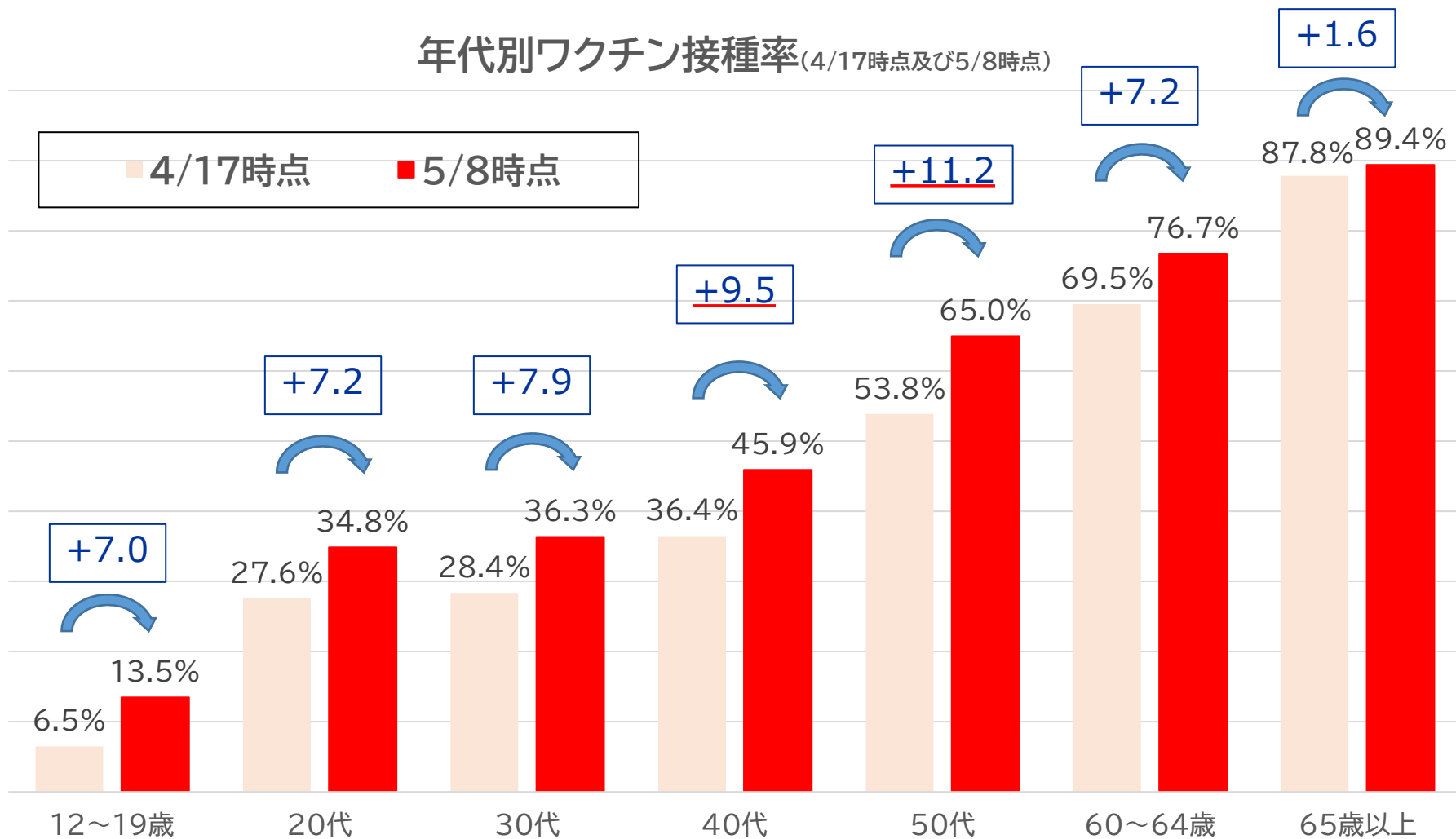
※人口は、令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口を引用しています。

※この資料における小児接種とは、5 - 11歳の接種を指します。

ワクチンの接種状況について（3回目接種に係る年代別接種率）

- 4月20日県対策本部会議時点より、50代、40代の接種率が大きく増加しました。
- 若年層の接種率も伸びてきていますが、65歳以上と比べると低い水準にあるため、この年代の接種率の向上が課題です。

年代別ワクチン接種率(4/17時点及び5/8時点)



県広域接種会場の設置について

○5月20日から、接種の加速化を図るため、県の広域接種会場を設置します。

<接種会場日時等> (詳細は右記載参照)

【会場】奈良県文化会館

【接種回数】計7, 200回分の接種機会を確保

【使用ワクチン】武田/モデルナ社製ワクチン

<予約方法> 以下のとおりです。なお、受付は、4月28日から既に開始しています。

●接種予約サイト

<https://vaccine-info-nara.org>

(受付時間 24時間)

※当日予約はできません。



●コールセンター

(受付時間 午前9時～午後5時)

0570-02-0120

(※ただし、接種日は午後6時まで)

<接種対象者>

①県内市町村が発行した3回目接種用の接種券をお持ちの方

②県外在住者のうち、県内への通勤・通学者

(但し、3回目接種券をお持ちの方に限る)

※引き続き、当日予約や県内への通勤・通学者も対象

とします。

3回目接種のこれまでの予約状況を踏まえ、主に週末等に開設します。

(5月以降の日程等)

【日程】(計15日間)

- ・5/20 (金) ~5/21 (土)
- ・5/26 (木) ~5/28 (土)
- ・6/2 (木) ~6/4 (土)
- ・6/9 (木) ~6/11 (土)
- ・6/17 (金) ~6/18 (土)
- ・6/24 (金) ~6/25 (土)

【接種時間】

14時～18時

【1日あたり接種予定人数】

480人

○5月下旬から開始予定の4回目接種も可能となるよう、準備を進めています。
(詳細は、改めて、県民の皆様にお知らせします。)